



インターハイ2連覇で笑顔がこぼれる(八角さん)



左から柳堀あいりさん・諏訪智美さん・高野真緒さん・高橋星菜さん

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

弓道教室

学びの扉は開いています

6月4日から8月6日までの毎週土曜日、香取神宮で行われた弓道教室には、市内の初心者約10人が集まりました。指導するのは体育協会佐原支部弓道部の林高志さんたち。訪問した7月23日は8回目で、参加者が弓を引く姿も形になってきたところです。その様子を見守りながら、「教室をきっかけに弓道をする仲間が増えてくれたら...」と指導陣。静かな道場に矢を放つ音が連続して響きます。参加者は気持ちを引き締め黙々と弓道に打ち込んでいました。



一対一で丁寧な指導



自信を胸に、緊張のスタート前(左から越川さん・木村さん)

市内中高生が水上スポーツで全国優勝

積み重ねた日々の結晶

市内の中高生が水上スポーツの全国大会で大躍進しています。

7月29日から31日まで、山形県月山湖で行われた全国中学生カヌー選手権大会の女子カヤックフォア4人漕ぎ)で、小見川中学校カヌー部の3年生4人が優勝しました。中でも諏訪智美さんはシングル(1人漕ぎ)・ペア2人漕ぎ)と合わせて三冠を達成しました。4人は国体関東ブロック予選でもフォアで優勝を果たし、全国で唯一、中学生として、いわて国体出場の切符を手に。柳堀あいりさん「高校生たちに、チャレンジャーとして挑みたいです」と、大会に向けて静かに燃える決意を語ってくれました。

一方、島根県さくらおろち湖で7月29日から8月1日まで行われた全国高等学校総合体育大会のボート競技では、小見川高校ボート部の越川智宏さん(3年)・木村太一さん(2年)の2人がダブルスカル(2人漕ぎ)で優勝しました。木村さん「日々の練習が成果につながり、とてもうれしかったです。国体でも良い成績を収めたいです」と話し、手ごたえを感じている様子でした。

また、佐原高校の八角周平さん(3年)は、8月9日から12日まで山口県中山湖で行われた同大会カヌースプリント・カナディアンシングル500メートルで2連覇を達成。200メートルでも優勝し、世界の舞台を経験している実力を存分に発揮しました。快挙を成し遂げた八角さん「2つの種目とも自己記録を更新し優勝できたことが、とてもうれしかったです。ここまでサポートしてくださった方々には本当に感謝しています」と、自身最高のプレーでの優勝に喜びを見せていました。

きもだめし大会

最高の悲鳴を求めて

7月31日、山田児童館に響き渡った叫び声。年に一度のきもだめし大会当日は、背筋が凍る恐怖を求めて、子どもたちが列を作りました。

今年は、小学生から高校生までのボランティアメンバーが、社会福祉協議会の協力を得て手作りのお化け屋敷を作り上げました。「血だらけの医者」役の佐原白楊高校の生徒は、「セットの完成度がとても高いので、私も一人でも多く怖がらせられるように頑張ります!」と開場前に語ってくれた意気込み通り、たくさん子どもたちに涼を届けていました。



狭い通路でゾンビがぬっと登場

